



CLICK TO REQUEST A
COMPANY CALL/MEETING

デジタルハーツホールディングス (3676)

収益向上の勢いが加速

2025 年 11 月 26 日

26 年 3 月期 2Q 決算アップデート

- Switch 2 と構造改革が収益を押し上げ - 2026 年 3 月期第 1-2 四半期は、営業利益が 14.4 億円に達し、中間期としては過去最高の水準を記録した。Nintendo Switch 2 の発売が DH グループに強い追い風となり、また AGEST グループも、海外での構造改革が完了に近づくなか黒字化を達成しました。同社は、グループシナジーをさらに高めグローバル展開を加速するため、昨年子会社のアイデンティティーを売却し、また今期 HUWIZ SOLUTIONS を買収したことで、より高収益かつ成長性の高い領域へとポートフォリオの再構築を進めた。第 1~2 四半期の堅調な業績を踏まえると、この基調は 2026 年 3 月期第 3~4 四半期においても継続すると見込んでいます。

収益見通しの改善

- 当事業業績予想を上方修正 - 今回の決算で確認された好材料を反映し、当社は 2026 年 3 月期の業績予想を上方修正した。主な理由は、1) DH グループ(国内デバッグ事業、グローバル及びその他事業)のモメンタムが引き続き堅調であること、2) AGEST グループにおいて海外の構造改革が完了に近づき、一時的な収益悪化からの回復が見込まれること、3) 新たに買収した HUWIZ SOLUTIONS の 2 か月分の業績を織り込んでおり、これらがグループの一株当たり収益の向上に寄与すると見込まれること、が挙げられる。
- バリュエーション - 修正後の当社予想に基づく、2026 年 3 月期の株価は PER11.4 倍(EPS は前期比 194.4%増)、EV/EBITDA 倍率は 5.3 倍となる。中核事業の収益モメンタムが強まり、AGEST グループの業績も改善していることを考慮すると、業績回復の見通しはなお株価に十分織り込まれていないと当社では見ている。

年度末	3/24	3/25	3/26E
売上高(10億円)	38.79	39.75	40.17
営業利益(10億円)	2.04	2.43	2.85
純利益(10億円)	0.18	0.63	1.85
EPS(円)	7.94	28.25	83.16
1株当たり配当(円)	21.00	23.00	23.00
売上高伸び率(%)	+6.2	+2.5	+1.1
営業利益成長率(%)	-32.0	+19.1	+17.4
純利益成長率(%)	-77.9	+255.8	+194.4
EPS 成長率(%)	-78.2	+255.6	+194.4
PER(倍)	119.6	33.6	11.4
EV/EBITDA(倍)	6.7	5.9	5.3
EV/売上高(倍)	0.5	0.5	0.5
PBR(倍)	2.7	2.5	2.2
ROE(%)	2.1	7.2	19.2
ROCE(%)	22.5	25.6	26.3
FCF 利回り(%)	4.2	10.5	11.0
配当利回り(%)	2.2	2.4	2.4

出所: 会社データ、アストリス・アドバイザー

株価: 950 円

時価総額: 227 億円



出所: ブルームバーグ

リターン

	YTD	1M	3M	12M
絶対(%)	+13.0	-2.4	-4.3	+17.1
相対(%)	-6.2	-4.9	-12.4	-6.2

セクター

情報技術サービス
IT サービス(GICS)

株式データ

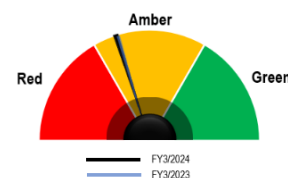
株価(円)	950
時価総額(10億円)	22.7
時価総額(100万ドル)	145.1
52 週レンジ(円)	782-1,209
発行済株式数(100万株)	23.9
日次平均出来高(100万ドル)	0.5
浮動株(%)	47.1
外国人株式保有比率(%)	14.7
コード	3676
取引所	Tokyo Prime
純有利子負債/自己資本(倍)	0.0
FFO レバレッジ(倍)	N/A
買い ホールド 売り	0 0 0

出所: ブルームバーグ

事業概要

デジタルハーツ HD は、エンターテインメント企業向けゲームデバッグサービス、法人向けソフトウェアテストおよび QA サービスなどを提供する。

アストリス-サステナビリティ ESG レーティング



参考レーティング

MSCI	N/A
Sustainalytics	N/A
Refinitiv	N/A
S&P Global	1.0
Bloomberg	1.28
CDP	N/A

次のイベント

2026 年 2 月: 2026 年 3 月期第 3 四半期決算発表

Tel: +81 3 6868 8797

Email: Corporateresearch@astrisadvisory.com

本レポートは同社から委託され、支払いを受けて作成されている。

直近の業績

2026 年 3 月期第 1-2 四半期決算

通期予想に沿った決算内容

主要財務データ

(10億円)	25 年 3 月 期 Q1~2	26 年 3 月 期 Q1~2	前年 比 (%)	通期計画 に対する進 捗率(%)	26 年 3 月期 通期計画	前年比 (%)	26 年 3 月期 Q3~4 (示唆値)	前年 比(%)
売上高	19.91	19.11	-4.0	48.1	39.75		20.64	+4.0
実質売上高*	17.86	19.11	+7.0		39.75	+8.5	N/A	
売上原価	15.03	14.11	-6.1		-		-	
売上総利益	4.87	5.00	+2.6		-		-	
売上総利益率(%)	24.5	26.2					N/A	
販管費	4.05	3.56	-12.0		-		-	
営業利益(損失)	0.83	1.44	+74.2	54.5	2.64		1.20	-25.1
実質営業利益*	0.78	1.44	+84.4		2.64	+11.9	N/A	
営業利益率(%)	4.1	7.5			6.6		5.8	
経常利益	0.81	1.42	+75.7		2.64		1.22	-17.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	0.46	0.76	+66.5		1.66		0.90	+417.5

出所: 会社データ

*注: 実質売上高および実質営業利益は、子会社売却の影響を除外して算出

両セグメントで大幅なマージン拡大

事業セグメント別データ(消去前)

(10億円)	25 年 3 月期 Q1~2	25 年 3 月期 Q1~2 (実質ベース)	26 年 3 月期 Q1~2	前年比 (%)	前年比(%) (実質ベース)
売上高					
DH グループ	12.17	10.12	11.32	-7.0	+11.8
国内デバッグ	6.80	6.80	7.50	+10.3	+10.3
グローバル及びその他*	5.37	3.32	3.82	-28.8	+15.0
AGEST グループ	7.93	7.93	7.91	-0.3	-0.3
QA ソリューション	6.84		6.99	+2.1	
IT サービス及びその他	1.08		0.92	-15.3	
セグメント利益(損失)					
DH グループ	0.83	0.79	1.15	+38.8	+46.8
AGEST グループ	-0.01	-0.01	0.28	N/A	N/A
セグメント利益率(%)					
DH グループ	6.8	7.8	10.2		
AGEST グループ	-0.1	-0.1	3.6		

出所: 会社データ

*注: 2025 年 3 月期第 1-2 四半期には、2024 年 12 月に売却したアイデンティティの案件数を含む

主なハイライト

2026 年 3 月期第 1～2 四半期の業績は概ね計画線上で推移した。DH グループは実質ベースで二桁の売上成長と利益率の拡大を達成し、AGEST グループは黒字転換を果たした。

DH グループ

家庭用ゲーム市場は、Nintendo Switch 2 の発売が大きな追い風となり、成長を続けた。日本におけるデバッグ市場において圧倒的なシェアを有す同社は、国内デバッグ事業で前年同期比 10.3%の増収を記録した。テストの時給が上昇したにもかかわらず、堅調な売上成長に支えられ、本セグメントは FY3/26 の上期で **27.8%**という高い粗利率を達成した。

グローバル及びその他事業では、子会社アイデンティティーの売却の影響を除くと前年同期比 15.0%増と高い伸びを示し、ゲーム開発のグローバル展開に伴う需要の強さが明確となった。こうした市場機会を確実に捉えるため、同社はタイおよびシンガポールへの進出に加え、HUWIZ SOLUTIONS(カナダ)の買収を通じて、海外事業の強化を進めてきた。

HUWIZ SOLUTIONS を買収

同社は HUWIZ SOLUTIONS 株式 100%の取得に合意し、取引は 2025 年 11 月 20 日に完了した。同社では 2024 年 12 月にアイデンティティー社を約 20 億円で売却した一方、今回事業シナジーがより高い HUWIZ SOLUTIONS を約 18 億円で買収しており、これは同社の事業ポートフォリオの戦略的な再編を示す。

買収時における HUWIZ SOLUTIONS の PER は、2024 年 10 月期利益ベースで 5.6 倍と、同社のバリュエーション水準を大きく下回っている。また、2024 年 10 月期の HUWIZ SOLUTIONS の純利益率は 23.5%と、2025 年 3 月期における同社の 1.6%を大幅に上回る水準である。

総合すると、当買収はグループ全体の一株当たり利益の向上に寄与するものと見込まれる。

買収の概要 (10 億円)

主な項目	金額
総資産	0.72
総負債	0.23
純資産	0.49
買収価額	1.80
のれん	1.31

出所: 会社データ

HUWIZ SOLUTIONS の過去 3 年間の業績

カナダドル(千)	FY10/22	FY10/23	FY10/24
売上高	9,492 (10.3 億円)	11,516 (12.5 億円)	12,392 (13.5 億円)
経常利益	3,010 (3.3 億円)	3,988 (4.3 億円)	3,873 (4.2 億円)
経常利益率(%)	31.7	34.6	31.3
当期純利益	2,304 (2.5 億円)	2,986 (3.2 億円)	2,913 (3.2 億円)

出所: 会社データ



HUWIZ SOLUTIONS は、世界的なゲーム開発の主要拠点の一つであるカナダ・モントリオール近郊に本社を置く、評価の高いゲーム QA 企業。2017 年の設立以来、優秀な人材の確保に成功し、カナダ国内のスタジオだけでなく、大手欧米パブリッシャーが手がける有名フランチャイズ作品の QA にも対応するなど、着実に事業を拡大してきた。

英語圏向けの QA 体制を強化するため、デジタルハーツホールディングスではすでにインドに専用の QA センターを設立しており、日本国内でも約 8,000 名のテスター（ネイティブの英語話者を含む）という独自の人材ネットワークを活用している。今回の HUWIZ SOLUTIONS の買収により、英語圏向け QA の提供能力がさらに拡大し、北米および欧州市場での顧客基盤が強化されることで、グローバル QA アウトソーシングにおける同社の競争力向上が期待される。

AGEST グループ

本セグメントは、大きく収益性を改善し、2025 年 3 月期上期の▲6 百万円から 2026 年 3 月期上期には 2.8 億円へと黒字転換を果たした。2025 年 3 月期第 1 四半期に発生した低採算案件の解消が寄与したほか、海外の QA ソリューション事業における構造改革が完了に近づき、販管費の削減に繋がった。また、MK Partners, Inc.の売却も全体の収益性向上に貢献した。

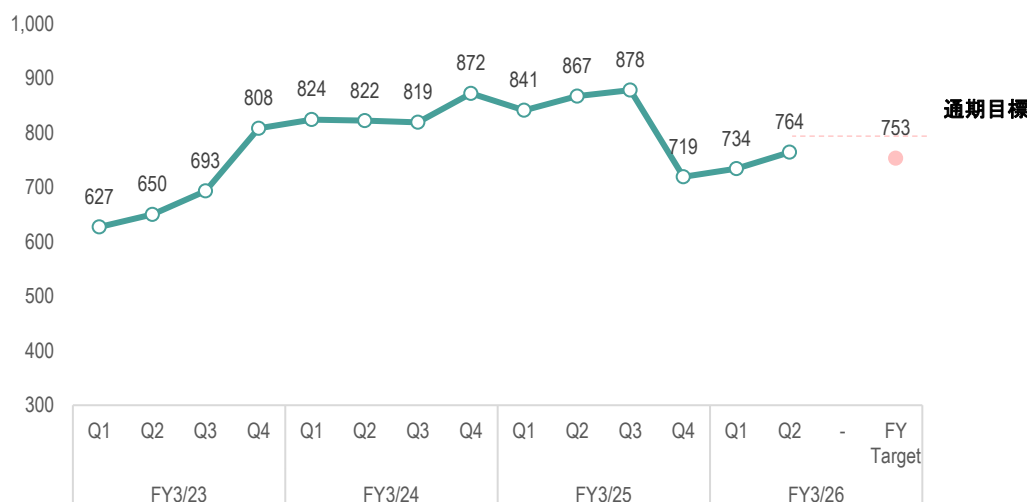
AGEST グループの直近アップデート

QA ソリューションの KPI は好調

AGEST グループの中核事業である QA ソリューションでは、受注顧客数、エンジニア数、年間平均顧客単価など複数の主要指標を継続的にモニタリングしている。

顧客数はすでに年度目標を上回る水準に到達

QA ソリューションの顧客数



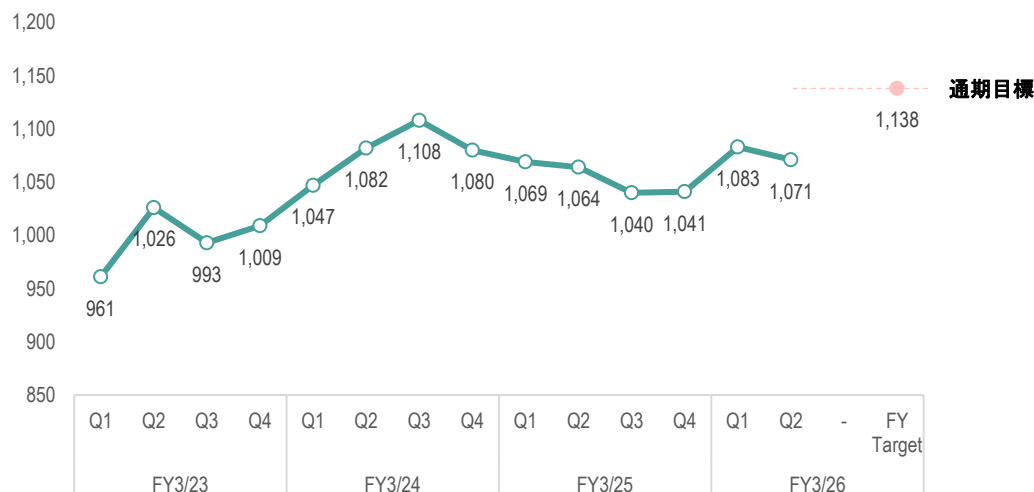
出所: 会社データ

*注: 2025 年 3 月期第 3 四半期に MK Partners, Inc. を売却し、それ以降の数値は MK Partners, Inc. を除いて算出

AI テストツール「TFACT」の導入により、効率性の向上とエンジニア数への依存度の低減が期待されているが、QA ソリューションは顧客の需要拡大に対応するために、依然としてエンジニアの人員増強を必要としている。

エンジニアの人員増強が必要

QA ソリューションのエンジニア数



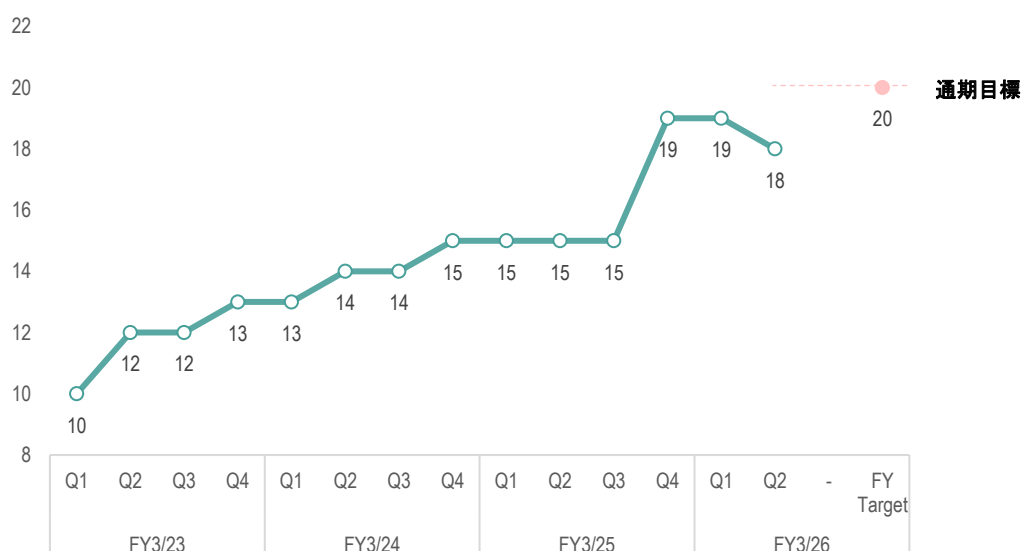
出所: 会社データ

MK Partners, Inc. は、QA ソリューションの海外事業における子会社であったが、業績の低迷に加え、グループ全体とのシナジー効果が限定的であったことから、2025 年 3 月期第 3 四半期に売却が決定された。同社は 100 社超の顧客を抱えていたものの、年間平均顧客単価は相対的に低水準であった。2025 年 3 月期第 4 四半期の業績から MK Partners, Inc. を除外したベースで見ると、QA ソリューションの平均単価は大幅に改善しており、事業ミックスの健全化が進んでいる。

2026 年 3 月期第 1 四半期に比べて、第 2 四半期における年間平均顧客単価が下落しているのは、主として顧客構成の変化によるものである。新規顧客の獲得は順調に推移し顧客数は増加したが、その多くがトライアル案件から開始されるため、短期的には平均顧客単価を押し下げる要因となった。ただし、これらの顧客が定期的な継続契約へ移行するに伴い、平均顧客単価は段階的に回復していくと見込まれる。

MK Partners, Inc. 売却後は QA ソリューションの単価が大幅に上昇

QA ソリューションの年間平均顧客単価(百万円)



出所: 会社データ

*注: 2025 年 3 月期第 3 四半期に MK Partners, Inc. を売却し、それ以降の数値は MK Partners, Inc. を除いて算出

当社の業績予想と主な前提条件

2026 年 3 月期第 3～4 四半期の当社見通し

2026 年 3 月期の会社計画から逆算すると、下期の売上高は前年同期比 4.0%増、営業利益は同 25.0%減を想定している。2025 年 3 月期の第 3 四半期は、営業利益が過去最高の 10 億円となり、前年比でのハードルが高いものの、当社では会社側のガイダンスは保守的と見ている。

コンソールゲーム市場の追い風はデバッグ事業を引き続き下支えすると予想されるほか、AGEST グループの海外事業の再編もほぼ完了しており、収益成長の継続が見込まれる。

また、2026 年 3 月期第 4 四半期に連結予定である HUWIZ SOLUTIONS の 2 か月分の業績寄与については、2024 年 10 月期の実績を基に、売上高で 2.3 億円、経常利益で 50 百万円(のれんは 10 年定額償却と想定)の上積みを見込んでいる。

これらに加え、2026 年 3 月期第 1～2 四半期の堅調な実績を踏まえ、当社では 2026 年 3 月期の通期予想を上方修正している。

アストリス・アドバイザリーの業績予想

(10 億円)	FY3/25 実績	FY3/26 会社計画	前年比(%)	前年比 (売却子会 社除き、%)	FY3/26 当社予想 (旧)	FY3/26 当社予想 (新)
売上高	39.75	39.75	+0.0	+8.5	40.42	40.17
DH グループ	23.91	22.87	-4.3	+9.9	22.69	22.92
AGEST グループ	16.16	16.88	+4.5	+4.5	17.73	17.25
調整分	(0.32)					
営業利益	2.43	2.64	+8.6	+11.9	2.69	2.85
DH グループ	1.94	2.01	+3.5	+7.4	2.00	2.13
AGEST グループ	0.49	0.63	+28.9	+28.9	0.69	0.71
営業利益率(%)	6.1	6.6			6.7	7.1
経常利益	2.28	2.64	+15.9		2.62	2.79
親会社株主に帰属する当期利益	0.63	1.66	+163.7		1.74	1.85
EBITDA	3.46				3.74	3.90
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	2.38				2.39	2.50

出所: 会社データ

注: FCF 換算は FCF/税引前利益。数値は小数点第 2 位を四捨五入

当社予想の主な前提は次の通りである。

- **売上高成長** - DH グループにおける HUWIZ SOLUTIONS の寄与は会社予想には織り込まれていないものの、当社予想では、同社の 2 か月分の売上高および利益貢献を反映している。AGEST グループでは、QA ソリューションの平均顧客単価が上昇基調にあり、売上高の伸びは会社計画を上回る可能性が高い。
- **収益性** - 国内デバッグ事業の堅調な推移に加え、AGEST グループにおける一時的な収益悪化からの回復もあり、利益成長は維持すると見込んでいる。さら

に、高い純利益率を有する HUWIZ SOLUTIONS が連結に加わることで、グループ全体の売上構成比が改善し、収益性向上に寄与すると考えられる。

- **フリーキャッシュフロー創出** – デバッグ機材の購入が 2025 年 3 月期第 4 四半期に集中していたことから、2026 年 3 月期は設備投資負担を抑制できる見通しである。収益性の改善に伴い営業キャッシュフローは増加傾向にあり、これがフリーキャッシュフロー全体の押し上げ要因となると見込まれる。

サマリー

細分化された市場
における大手プレーヤーの1社

デジタルハーツホールディングスは、2013年に設立され(同社の前身で現在子会社のデジタルハーツは2001年に設立)、ゲームデバッグサービスのパイオニアとして事業を開始した。その後、エンタープライズ向けの品質保証(QA)およびテストサービスへと事業領域を拡大してきた。市場は非常に細分化されているが、同社はその中でも比較的規模の大きい企業の一つであり、時価総額ベースではQA・テストサービスの上場企業として第2位の規模を誇る。

同社は、AGESTグループのスピノフ上場を検討している。これは、2つの異なる事業を独立させることにより、各事業はより効率的にリソースを配分でき、意思決定の迅速化も期待される。最終的には、成長の加速および企業価値の向上につながると見込まれている。

同社は今期より成長の加速を見込んでおり、各セグメントにおいて以下の中期目標を掲げている。

- **DH グループ**
 - M&Aを含め、年率10%以上の売上成長
 - 「グローバルサービス」領域で年率20%以上の成長
 - 営業利益率10%以上
 - ROIC15%以上
- **AGEST グループ** – スピノフ上場に先立ちセグメント再編を実施した後、新たな成長目標は設定していない。

アストリス・アドバイザリーは、同社が以下の取り組みにより中長期的な成長率を維持すると見込んでいる。

- DHグループにおいては、ゲームソフト向けのデバッグサービスの安定成長に加え、M&Aや事業提携、ソリューション事業の拡大、さらには地域的な展開拡大により、グローバルでの成長加速が可能であると予測する。売上構成をより収益性の高い領域へとシフトさせることで、利益率の更なる改善が期待される。
- AGESTグループにおいては、企業のデジタル化(DX)の進展がコア事業の成長を下支えするほか、同社が「シフトレフト」「シフトライト」と呼ぶ周辺領域への事業拡張により、対象市場の拡大が見込まれる。

同社株価は、足元では2026年3月期のPERが11.4倍、EV/売上高倍率が0.5倍と、売上規模が大きい同業他社に比べて割安な水準で推移している。

JGAAP に基づく要約財務諸表

損益計算書 (10億円)	FY 3/24	FY 3/25	FY 3/26E
売上高	38.79	39.75	40.17
売上原価	28.70	29.61	29.60
売上総利益	10.09	10.14	10.56
売上総利益率(%)	26.0	25.5	26.3
営業利益	2.04	2.43	2.85
営業利益率(%)	5.3	6.1	7.1
営業外収益	0.07	0.06	0.07
営業外費用	-0.05	-0.21	-0.13
経常利益	2.06	2.28	2.79
特別利益	-	0.63	-
特別損失	-1.20	-1.26	-
税引前当期純利益	0.85	1.65	2.79
法人税等	-0.66	-0.98	-0.89
実効税率(%)	32.2	42.8	32.0
当期純利益	0.19	0.67	1.89
非支配株主に帰属する当期利益	0.01	0.04	0.04
親会社株主に帰属する当期利益	0.18	0.63	1.85
売上高前年比伸び率(%)	+6.2	+2.5	+1.1
営業利益前年比伸び率(%)	-32.0	+19.1	+17.4
税引前当期純利益前年比伸び率(%)	-57.2	+92.5	+69.3
当期純利益前年比伸び率(%)	-77.9	+255.8	+194.4

貸借対照表 (10億円)	FY 3/24	FY 3/25	FY 3/26E
現金・預金	6.86	7.59	8.48
棚卸資産	0.03	0.07	0.09
売掛債権	5.92	5.50	5.56
その他流動資産	0.72	0.91	0.92
流動資産	13.53	14.07	15.05
有形固定資産	1.49	1.48	1.65
のれん	2.31	1.04	0.96
無形固定資産	0.59	0.71	0.89
投資有価証券	1.79	1.34	1.34
その他固定資産	1.38	1.32	1.32
固定資産	7.58	5.88	6.15
資産合計	21.10	19.95	21.20
短期借入金	7.10	5.21	5.21
買掛債務	3.83	4.29	4.16
その他流動負債	1.09	0.97	1.00
流動負債	12.03	10.47	10.37
長期借入金	0.03	-	-
その他固定負債	0.20	0.22	0.22
固定負債	0.22	0.22	0.22
負債合計	12.25	10.69	10.59
株主資本、その他の包括利益 累計額	8.42	8.95	10.31
新株予約権	-	-	-
非支配株主持分	0.44	0.31	0.31
純資産	8.85	9.26	10.62
負債・純資産合計	21.10	19.95	21.20

キャッシュフロー計算書 (10億円)	FY 3/24	FY 3/25	FY 3/26E
税引前当期純利益	0.85	1.65	2.79
減価償却費	1.04	1.03	1.04
運転資金の増減	-0.17	0.31	-0.17
その他の非現金項目	1.05	0.80	0.50
法人税等支払額	-1.01	-0.66	-0.89
営業活動によるキャッシュフロー	1.76	3.12	3.27
設備投資	-0.81	-0.74	-0.76
投資有価証券	-0.16	1.43	-
その他の投資活動によるキャッシュフロー	-1.40	-0.70	-1.05
投資活動によるキャッシュフロー	-2.37	-0.01	-1.81
配当金支払額	-0.47	-0.47	-0.51
借入金および社債発行による収入(返済・償還による支出)	1.99	-1.91	-
自己株式の取得による支出	-0.01	-	-
その他	-0.58	-0.18	-0.18
財務活動によるキャッシュフロー	0.93	-2.56	-0.69
為替影響	0.08	0.18	0.13
ネットキャッシュフロー	0.40	0.74	0.89
フリーキャッシュフロー(FCF)	0.95	2.38	2.50
EBITDA	3.08	3.46	3.90
EBITDA 利益率(%)	7.9	8.7	9.7
FCF マージン(%)	2.4	6.0	6.2
FCF コンバージョン(%)	110.8	144.8	89.9
設備投資/売上高(%)	2.1	1.9	1.9
設備投資/減価償却(%)	78.2	71.7	73.1
営業 CF マージン(%)	4.5	7.8	8.1

主要指標	FY 3/24	FY 3/25	FY 3/26E
収益性			
売上総利益率(%)	26.0	25.5	26.3
営業利益率(%)	5.3	6.1	7.1
当期純利益率(%)	0.5	1.6	4.6
ROA(%)	0.9	3.1	9.0
ROE(%)	2.1	7.2	19.2
ROCE(%)	22.5	25.6	26.3
ROIC(%)	9.4	9.4	13.1
流動性			
流動比率(倍)	1.1	1.3	1.5
当座比率(倍)	1.1	1.3	1.4
レバレッジ			
D/E レシオ(倍)	0.8	0.6	0.5
ネット D/E レシオ(倍)	0.0	net cash	net cash
自己資本比率(倍)	0.4	0.4	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	N/A	N/A	N/A
ネットデット/EBITDA (倍)	0.1	N/A	N/A
バリュエーション			
EPS(公表値)(円)	7.9	28.2	83.2
PER(倍)	119.6	33.6	11.4
希薄化後 PER(倍)	120.0	33.8	11.5
DPS (円)	21.0	23.0	23.0
配当性向(%)	264.3	81.4	27.7
配当利回り(%)	2.2	2.4	2.4
FCF 利回り(%)	4.2	10.5	11.0
希薄化後 FCF 利回り(%)	4.2	10.5	11.0
PBR(倍)	2.7	2.5	2.2
EV/売上高倍率(倍)	0.5	0.5	0.5
EV/EBITDA 倍率(倍)	6.7	5.9	5.3
EV/EBIT 倍率(倍)	10.1	8.5	7.2
EV/FCF 倍率(倍)	21.7	8.6	8.2

出所: 会社データ、アストリス・アドバイザー(予想)



免責事項

本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が作成したものです。本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が信頼できると考える公開情報源から入手した情報に基づいていますが、独自検証は行っていない、その正確性や完全性について保証、表明、保証をするものではありません。本レポートは、当該企業について述言及すべき全事項を記載したのではなく、また、記載を試みるものでもありません。ここに記載された意見は、本レポート作成時点におけるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社の判断を反映したものであり、予告なく変更される場合があります。本レポートに記載されている将来の見通しに関する情報または記述には、仮定、今後の業績予測、未確定な金額見積もりなどに基づく情報が含まれているため、既知および未知のリスク、不確実性および、このテーマに関する実際の結果、業績または成果が現在の予想とは大きく異なる可能性をもたらすその他要因が含まれています。

本レポートは概説として作成されたものであり、特定の金融商品または戦略を個人的に推奨するものではなく、また個人的な投資アドバイスを構成するものでもありません。
アナリストは、(i) 本レポートで表明する見解は、本レポートの対象である企業および証券に関する当該リサーチアナリストの個人的見解を正確に反映していること、(ii) 当該リサーチアナリストの報酬のいかなる部分も、直接的にも間接的にも当該リサーチアナリストが本レポートで述べた見解に過去、現在、未来を通して関連しないことをここに証明します。
本レポートは、日本法に基づき設立され、日本の金融庁の監督下にあるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社により作成されました。現地当局による規制範囲に関する詳細をご要望の場合は、弊社から入手可能です。

利益相反

本レポートは、当該企業が委託して費用を負担したものであり、MiFID II で定義される許容可能な軽微な非金銭的利益に該当すると判断されるものです。
読者は、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が、現在、もしくは今後 3 ヶ月以内およびその後、当該企業に対して IR/コーポレート・アドバイザリーなどのサービスを提供する、または提供することを求める可能性があることを前提とする必要があります。
記載金融証券への投資: アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、取締役、役員、従業員およびサービスプロバイダーの個人的な取引について制限的な方針をとっています。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、投資業務を行っておらず、本レポート記載の金融証券は一切保有していません。

責任制限

アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートに基づき投資家が行った投資、売却、保有の決定に関して、いかなる責任も負わないものとします。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートの情報に起因する直接的、間接的、偶発的、特別、または結果的損害(予見可能か否かを問わず)に対して、一切の責任を負わないものとします。

Copyright 2025 Astris Advisory Japan K.K. All rights reserved.
全著作権所有無断転載禁止